

シミュレーション2（アメリカが交渉に進んだ場合）

【追加シナリオ】

トランプ政権は、北朝鮮による核兵器の完全放棄という目標を維持しつつも、まずは自国に届く ICBM の開発放棄を優先すべきとの判断を下し、他の諸国と事前協議しないまま、北朝鮮に対して、核開発の凍結および ICBM 廃棄を前提とした交渉を提案していたことが明らかとなった。日本では、韓国や米軍を支援して北朝鮮に攻撃されるのは受け入れ難いとする世論が 75%を占めるようになっていた。安倍政権は、安保法制上の「重要影響事態」の認定を国会に求めたが、野党は事態認定すれば北朝鮮に攻撃されるので、あくまで交渉による平和的な解決を模索すべきと要求。しかし、交渉を通じて日本がアメリカに見捨てられれば危険な事態に陥るとする意見も世論の 90%を占めた。韓国では、もしアメリカが ICBM を攻撃すれば、北朝鮮が反撃してソウルが壊滅すると危惧する意見が広がり、米軍による軍事行動に反対する世論が 8 割を占めた。中国とロシアは、アメリカが軍事行動に及べばすべての国にとって取り返しのつかない損害が生じる、今こそ交渉を開始し、北朝鮮の要求を精査しながら平和的な解決策を探るべきとの提案を行った。中露は、北朝鮮が核開発を凍結し、ICBM を放棄するのと引き換えに、在韓米軍の段階的な完全撤退をアメリカに見返りとして求める案を検討中との憶測が流れている。

【シミュレーション概略】

《アメリカ》

目標

軍事衝突は避けつつ ICBM を手放させる

外交

北朝鮮との秘密交渉が主で、人道支援、制裁解除、体制維持、在韓米軍撤退を求められたが、一旦すべて拒否。その後、ICBM の即時廃棄で人道支援を行うと提案したが、中露による人道支援を取り付けたとして拒否される。ICBM の即時廃棄で体制維持+在韓米軍削減を行うと提案したが、北朝鮮からは核実験の凍結と ICBM の段階的放棄と引き換えに制裁解除を求められ、まともらず。また、日本からは北朝鮮へ先制攻撃をすれば支援しないとされる。韓国からは北朝鮮の弾道ミサイル全廃を求められるも、これは北の体制維持と矛盾するため拒否。中国は信頼できず交渉は不振。

《日本》

目標

日本の安全保障、その場その時の国際情勢に沿った連携の強化

外交

米韓を支援しなければ北朝鮮に攻撃されないという事なので、米韓への支援はしないという事を表明。しかし北朝鮮が先制攻撃した場合には米韓を支援するとも表明。中国、ロシアに対しては人道支援を容認。北朝鮮とは直接交渉を行いアメリカを支援しない代わりに拉致問題の全面解決を引き出した。

《韓国》

目標

朝鮮半島の安定化

外交

ICBM 撤廃はアメリカのみの利益であり、韓国の現状もふまえて交渉してもらうために、弾道ミサイル、短中距離ミサイルの撤廃も含めて交渉するようアメリカに要請。北朝鮮に対しては一連の事件に対して遺憾の意を表明。責任者を処罰すれば、韓国側は対北支援を行い、将来的には軍縮協議をする用意があると伝えるも決裂。

《中国》

目標

中国主導の問題解決を通して東アジアでの影響力を拡大

外交

アメリカの影響力を低下させる目的で、在韓米軍撤退とイージス艦撤退を北朝鮮への圧力を見返りに要求するも拒否される。また、ロシアとは協調を確認し、アメリカへの共同非難声明を発表。中朝露の三カ国会談を定期的で開催し、アメリカの要求をのまないこと、北朝鮮に支援を行うことで一致。日韓に対してはアメリカからの引き離しを画策するも不調。

《ロシア》

目標

戦争回避、アメリカ・中国から北朝鮮を取られないようにする

外交

中国と協調し北朝鮮への支援を行うことで一致。北朝鮮から要求された ICBM の配備を承諾し、さらに日韓に対しても北朝鮮の要求をのむよう交渉。日本は人道支援等を容認。韓国には在韓米軍の撤退と在韓露軍の駐留を提案するも拒否された。これを受けて北朝鮮に対し韓国への軍事挑発を高めるよう要求、見返りに人道支援を求められ承諾。しかしアメリカが在韓米軍の削減を提案したため軍事挑発は行われず。

《北朝鮮》

目標

自国の存立と地位の保証（ICBM 開発時から根底にある目標であり、自国の政治体制の保証なども求める。）、制裁の解除、在韓米軍の撤退、THAAD 配備の撤退

外交

日本とは拉致問題解決に努力するかわりに日本による米軍の支援を限定（北の先制攻撃時以外は支援しない）することで秘密合意。中露からは人道支援を受けることで合意。そのため韓国からの人道支援を見返りとした要求はすべて拒否できた。また、アメリカとの交渉においても人道支援を見返りに求める必要がなくなり、体制維持の保証や在韓米軍撤退の要求を強気で臨むことができるようになった。最終的には ICBM の段階的放棄、核凍結を提案するも合意には至らず。

《教授コメント》

- ・シミュレーション 1 とは対照的に、アメリカが交渉の姿勢を示すと、中国やロシアはこれを利用しようと目標を肥大化させた
- ・アメリカの一国主義による北朝鮮との交渉は、日韓にとっては悪夢
- ・在韓米軍削減交渉がもたらす日韓への影響を考慮
- ・要求と見返りのバランスをどうとるかが課題